

# 金価格の上昇背景と金投資の方法について

ファイナンシャル・プランナー 伊藤 亮太

このところ金の価格上昇がとまりません。なぜでしょうか？今回は金価格上昇の背景について説明するとともに、金に投資するにはどのような投資方法があるのかお話をしていきたいと思います。

## ■金価格は様々な理由から上昇している

金の価格はこの10年で円換算して約4.4倍上昇しています。この1年における上昇ペースは速く、ニューヨーク市場では史上最高値を更新するなど上昇傾向が収まる気配がみられません。なぜこんなに金価格は上昇しているのでしょうか。

金価格高騰の背景には、主に下記のような理由があると考えられます。

### ①安全資産として買われている

欧米では債務問題で揺れています。それに伴い世界的な景気悪化も懸念されており、株式などのリスク資産から安全資産へ逃避する動きがみられるようになってきています。金は安全資産として注目されており、その結果、金価格が上昇しているといえます。

### ②インフレに強い

新興国の経済成長に伴い、食料品や原油などの資源需要が増したことで物価が高騰しています。いわゆるインフレーションが加速しているのです。インフレになると保有している現金で購入できる物の量は減ることになります。しかしながら、金はインフレに強いいため、現金で保有するよりもインフレ対策として金で保有した方がよい、という考えに基づいて金を買われている背景があるといえます。

### ③新興国による需要が増加している

金は投資という観点以外に、実需、つまり宝飾品などの購入による需要が増している点も背景にあるといえます。新興国であるインドや中国では金を身に付ける習慣もあることから、成長に伴い豊かになっていく結果、金を買われやすい状況になってきているともいえます。また、新興国の中には自国の通貨に対して信用していない国民も多いようで、金を保有することで対策をしている場合もあるようです。以上のような理由から、現在も金価格が上昇しているといえるのです。

## ■金の国際価格はドル建て表示

それでは金はどのように取引されているのでしょうか。金は国際商品の代表格であり、外国為替市場のドルや円などの通貨と同様に24時間世界中のどこかで取引がされています。

金の国際価格は米ドル建てで表示されています。また、金の現物価格の指標となるのがロンドン市場における価格です。代表的な金の取引市場としては、ニューヨーク市場やスイスのチューリッヒ市場、香港市場などがあります。

それでは日本で購入する場合はどうなるのでしょうか。日本国内における金価格は1グラム当たりの価格が円建てで表示されることとなります。つまり、金の価格変動だけでなく、為替の影響も受けるこ

とになります。現状では円高ドル安にもかかわらず、金の国際価格が上昇している背景から、日本国内における金価格も上昇しているということになります。

## ■金投資の仕方

金に投資する方法には、大きく分けると2通りあります。1つは金そのものを買う現物取引になります。もう1つは金価格の変動を利用した金関連商品の取引です。主に先物取引があげられます。先物取引はハイリスク・ハイリターンになりますので、初めて金投資をされるかたにはおすすりできません。

したがって、ここでは現物取引についてお話ししましょう。現物取引はさらに大きく3つに分けることができます。

### ①金地金

現物の金の地金を購入します。コインバー（5g、20g、50g）やラージバー（12.5kg）など様々な種類があります。

### ②金貨

地金型金貨とも呼ばれます。24金と22金の2種類があります。有名なのは、カナダのメイプルリーフ、オーストリアのウィーンハーモニーなどでしょうか。一般的に、50万円以下の購入であれば、手数料のかかる金地金よりも地金型金貨の方が投資妙味はあるといえます。

### ③純金積立

毎月一定額（例：3,000円、5,000円など）を口座から引き落とし少しずつ定期的に購入します。ほとんどの取扱会社では、ゴールドジュエリーとの等価交換や時価で売却することもできます。

なお、純金積立の詳細に関しては、下記を参照してください。

[http://www.skirr-jp.com/data/novari\\_column\\_02.pdf](http://www.skirr-jp.com/data/novari_column_02.pdf)

その他、金価格の上昇（または下落）により利益を得たい方は、証券取引所を通じて金価格に連動するETF（上場投資信託、一部に関してはETN）を購入する方法もあります。

<東京証券取引所に上場>

- ・SPDRゴールド・シェア（1326）
- ・純金上場信託（現物国内保管型）（1540）
- ・ETF S金上場投信（1672）

<大阪証券取引所に上場>

- ・国内金先物価格連動型上場投信（1683）

各ETFは数千円～数万円もあれば購入できますから、少額投資という観点ではETFか積立投資がよいかもしれません。また、実際に金を手に入れたい方は上記①～③の現物取引をされるとよいでしょう。

以上、簡単ではありますが、金投資についてみてきました。各商品の詳細についてはここでは述べることはできませんが、どんな投資方法があるのかだけでも理解していただければと思います。最後に、金投資をするにあたって一言。金は利息をうみません。また、インフレ対策や安全資産として買われる傾向があり、政治・経済情勢によって価格は大きく変動するといえます。余裕資産のうち、全体の5～15%ほどを目安に他の資産にも振り分けながら投資を検討されるとよいでしょう。